

報告

## 2022年度 ラ・トロブ大学 (La Trobe University) におけるオーストラリア短期研修報告

辻義弘<sup>1,2)</sup>, 桑島理絵<sup>2,3)</sup>, 楠木健洋<sup>2,4)</sup>, 岸川靖夫<sup>2,3)</sup>, 長尾晋宏<sup>2,5)</sup>, 藤重仁子<sup>2,5)</sup>

<sup>1)</sup> 森ノ宮医療大学 医療技術学部 臨床工学科

<sup>2)</sup> 森ノ宮医療大学 国際交流センター

<sup>3)</sup> 森ノ宮医療大学 事務局 企画課

<sup>4)</sup> 森ノ宮医療大学 会計課

<sup>5)</sup> 森ノ宮医療大学 医療技術学部 鍼灸学科

### 要 旨

2023年3月4日～3月15日の日程で、ラ・トロブ大学（ビクトリア州、オーストラリア）において、オーストラリア短期研修を実施した。本稿では、海外研修プログラムの内容と成果について報告する。

**キーワード：**海外語学研修, 森ノ宮医療大学英語教育プログラム (Morinomiya English Education Program: MEEP), ラ・トロブ大学

---

連絡先：辻 義弘 TSUJI Yoshihiro

〒559-8611 大阪市住之江区南港北 1-26-16

森ノ宮医療大学医療技術学部臨床工学科

## I. はじめに

森ノ宮医療大学では、春季休暇期間に学生が10～14日前後海外に滞在し、語学研修および海外の医療施設を訪問する短期海外研修を実施している。2022年度の短期海外研修は、ラ・トローブ大学 (La Trobe University) (ビクトリア州, オーストラリア) において、2023年3月4日～3月15日 (12日間) の日程で実施した。短期海外研修は、森ノ宮医療大学が掲げる「グローバル時代に必要な『英語力』と『国際感覚』を身につけた医療人を育成する」という教育目標をもとに、大学開設当初から森ノ宮医療大学英語教育プログラム (Morinomiya English Education Program: MEEP) および本学国際交流センターで企画・実施されてきた研修である。MEEPとは、森ノ宮医療大学での英語教育全般を指す名称で全学科全学年の学生を対象に実施している本学独自の英語教育プログラムである。本科英語教育のほか、Test of English for International Communication (TOEIC) のスコアアップを目指す課外講座も用意されており、英語のスキルを向上させたい学生に充実したカリキュラムを提供している。海外短期研修を希望する学生は、TOEICのスコアを含む所定の条件をクリアすれば、参加費用の一部に補助金が支給される。

本学の短期海外研修の特徴は、全学科 (看護学科, 理学療法学科, 作業療法学科, 診療放射線学科, 臨床検査学科, 臨床工学科, 鍼灸学科) の学生が参加可能な点であり、研修先大学では現地大学生と同様のキャンパスライフを他学科の学生と体験・交流することで、より深い多職種連携・多職種理解を行うことのできるプログラムになっている。本学の研修はこれまで、カーティン大学 (オーストラリア州, オーストラリア), シドニー大学 (ニューサウスウェールズ州, オーストラリア), マキュアン大学 (アルバータ州, カナダ) で実施されており、本研修は第4回目となる。2020年は、カーティン大学での研修を実施する予定であったがコロナ禍の影響により渡豪が中止となり、今回は3年ぶりの短期研修となった。短期間ではあるが参加学生は今回の研修を通じて多くの学びを得た。本稿では、ラ・トローブ大学での2022年度オーストラリア短期海外研修の概要について報告する。なお、本報告書における写真の掲載承諾は、事前に学生から得た。

## II. ラ・トローブ大学の概要 (図1)

ラ・トローブ大学 (La Trobe University) は1964年に設立されたオーストラリア南東部のビクトリア州の公立大学であり、バンドゥーラ (Bundoora), オーバリーオドンガ (Albury-Wodonga), ビーチワース (Beechworth), ベンディゴ (Bendigo), ミルドゥラ (Mildura), マウント・ブラー (Mount Buller), メルボルン (Melbourne City), シェパートン (Shepparton) に8カ所のキャンパスを持つ総合大学である。また、同大学メインキャンパス (バンドゥーラ・キャンパス) 内にラ・トローブ大学の附属英語学校であるラ・トローブカレッジ (La Trobe College Australia) を併設しており、留学生向けのさまざまな英語集中コース (English Language Intensive Courses for Overseas Students: ELICOS) を提供している。本研修で訪れたメインキャンパスは、メルボルン中心部から北へ14キロ程のバンドゥーラに位置しており、エミューやカンガルー、コアラなどが生息する野生動物保護区の中にある。広大なキャンパス内にはレストラン, 銀行, 病院, 美容院, 旅行会社, 映画館, 高齢者のための施設などがあり、学生満足度が非常に高い大学として評価されており、質の高い教育と研究が行われている。



【Photo1】 La Trobe University ①



【Photo2】 La Trobe University ②



【Photo3】 La Trobe University ③

図1 La Trobe University

### III. 研修概要

#### 1. 短期海外研修の目的

本短期海外研修の目的は、「オーストラリアにおける医療従事者との学術交流およびラ・トロブ大学の教職員・学生との交流を通して、英語コミュニケーション能力を向上させ、オーストラリアの医療体制についての情報収集を行うこと」である。オーストラリアの多民族・多文化に身を置くことで、多様な価値観への理解力や対応力を養い、英語運用能力の向上だけではなく医療従事者の基礎となる他者理解力を養うことができる。

#### 2. 参加学生、引率職員

看護学科4名(4年生3名, 3年生1名), 作業療法学科1名(1年生1名), 診療放射線学科3名(2年生2名, 1年生1名), 臨床検査学科2名(4年生1名, 2年生1名), 臨床工学科2名(3年生1名, 2年生1名)の計12名(女性11名, 男性1名)が参加した。引率教職員は、本学国際交流センター員である辻(医療技術学部 臨床工学科 准教授)と桑島(事務局 企画課)が同行した。

#### 3. 事前研修

3回にわたり本学キャンパスにて、事前研修を行なった。事前研修は、短期海外研修に参加する学生にオーストラリアでの語学研修に対する明確な目的意識と心構えを持たせること目的として実施した。事前研修では、渡豪時・入国時の注意点、海外保険の取り扱い、ラ・トロブ大学での研修概要について参加学生に説明した。また、短期海外研修実施にあたり、英会話力の向上を目的に、オンラインでの英会話授業を実施した。オンライン英会話は、1回の英会話授業が25分のマンツーマン・オンライン授業を約1ヶ月に渡り計8回行うもので、予習・復習プログラムも提供された。また追加授業として、渡豪直前の1月まで、50分のマンツーマン・オンライン授業が提供された。

#### 4. 短期海外研修期間・主な研修施設とその概要

研修日程は2023年3月2日～3月15日であり、研修内容およびスケジュールは表1の通りである。

表1 研修スケジュール

Day	Activity
4 Mar	• 3:30pm Leave for Brisbane
5 Mar	• 1:35pm Arrival at Melbourne International Airport • Airport Transfer to accommodation at La Trobe University.
6 Mar	Orientation and Induction, Campus tour, English language placement test. • 8:30am Arrival at Sylvia Walton Building for Orientation and check-in • 10:30am Guided campus tour with staff (LTCA SAS Team Member) • 12:00pm Lunch on campus (Bread and Butta Cafe) • 1:00pm English Placement Test
7 Mar	English Class 8:30 – 1:00pm, Nursing Labs Observation • 8:30am Self Introductions, talking about your discipline (Classroom, English Teacher) • 10:30am Morning Break • 11:00am Anatomy in English (Classroom, English Teacher) • 1:00pm Lunch Break (AGOLA) • 2:00pm Nursing Labs Observation (Sapha Shibeeb) • 4:00pm Visit to St. Patrick's Cathedral and Cook's Cottage
8 Mar	English class, 8:30 – 1:00pm, Visit to Prosthetics and Podiatric Department • 8:30am Health and Diagnostics (describing pain, parts of the body, sensations) (Classroom, English Teacher) • 10:30am Morning Break • 11:00am Bedside manner (talking with Patients) (Classroom, English Teacher) • 1:00pm Lunch Break • 2:00pm Visit to Prosthetics and Podiatry Departments (Prosthetics & Podiatry)
9 Mar	English Class 8:30 – 1:00pm, Visit to Nursing Department (Nursing Pods) (TBC) • 8:30am Patient Interaction (making small talk, talking about weather and events) • 10:30am Morning Break • 11:00am Talking about prescription medication (pharmacology, dosages, recommendations to patients) • 1:00pm Lunch Break • 2:00pm Visit to Nursing Department (pods) (Podiatry (TBC))
10 Mar	English Class 8:30 – 1:00pm, Melbourne City Orientation Tour including Queen Victoria Market and the State Library of Victoria • 8:30am Talking about diet, nutrition and exercise (Classroom English Teacher) • 10:30am Morning Break • 11:00am Leave LTU (public transport) for City Orientation Tour: Lunch in the city, Queen Victoria Market, State Library of Victoria
11 Mar	Free time day
12 Mar	Free time day
13 Mar	English Class, 8:30 – 12:00pm including End-of-course celebration and presentation of Certificates. • 11:00am Lunch meeting (meeting room catering) reflecting on key learning from the study tour program. • 12:00am Visit to School of Humanities and Social Sciences, School of Humanities and Social Sciences, Department of Languages and Cultures • 1:00pm Leave for Sydney
14 Mar	• 10:00am Visit to Sydney Opera House and Sydney Harbour Bridge • 9:35pm Leave for Japan
15 Mar	• 10:40am Arrival at Osaka International Airport

## 5. 研修中の宿舎 (図 2)

ラ・トロブ大学内の Glenn College に宿泊した。Glenn College はダイニングホール、ビストロカフェ、学習スペース、ジム、スポーツゲームルーム、キッチン、バーベキュー施設、ランドリー設備などが備わっており、約 350 名の学生が宿泊可能で、多文化社会の実相に触れることができる宿舎となっている。引率教職員も参加学生と同様 Glenn College に宿泊し、寝食をともにした。



【Photo4】 Meeting at Glenn College



【Photo5】 Dinner at Glenn Bistro



【Photo6】 Glenn College

図2 研修中の宿舎 (Glenn College)

## 6. ラ・トロブ大学 スタディツアー (図 3)

### 6-1 ラ・トロブ大学 スタディツアーの概要

ラ・トロブ大学のスタディツアーは、アカデミックプログラムと文化的理解を促すためのコミュニティプログラムを組み合わせたもので、英語クラスを受講することで語学力を強化し、さまざまな医療部門で実習・見学することでアカデミックスキルを磨き、研修を通してオーストラリアの医療を理解できるように設計されている。

### 6-2 オリエンテーション

研修プログラムは、Sylvia Walton Building の 403 教室で行われた。研修初日に、キャンパスマップ、メルボルン市内の地図、ノート、公共交通機関の電子マネーカード (Myki Card) が入ったオリエンテーションパックが各学生に配布された。研修初日の午前には、Peter 先生 (Director of studies) より、大学キャンパス内の部門や施設、サービス、英語でのコミュニケーション能力向上を目的としたワークショップメニュー、オーストラリアの医学・医療大学について、公共交通機関の乗り方や Myki Card の使用方法、オーストラリアの歴史、地元の文化、オーストラリアの先住民コミュニティ、市内の観光スポットについての説明と紹介があった。

続いて、supplementary academic support (SAS) のメンバーの案内で 1 時間ほど大学キャンパスツアーを行ない、Agri Bio Building の Bread and Butta Cafe で昼食を楽しんだ。午後は、学生のレベルに合った授業を提供する目的で、English placement test が行われた。English placement test はデジタルツールを使用し、Reading (60 Questions) と Writing (1 topic) を 30 ~ 60 分間で回答する形式であった。Listening と Speaking の試験は別室で個別に行われた。午後からは、ラ・トロブ大学からメルボルン市内までバスで移動し、セント・パトリック大聖堂 (St. Patrick's Cathedral)、フェデレーション・スクエア (Federation square)、キャプテン・クックの生家 (Cook's Cottage)、フリンダース・ストリート駅 (Flinders street station) を訪問し、メルボルンの歴史に触れた。





【Photo7】 Sylvia Walton Building



【Photo8】 Bread and Butta Cafe ①



【Photo9】 Bread and Butta Cafe ②



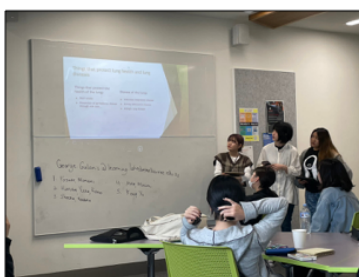
【Photo10】 Orientation



【Photo11】 Campus Tour



【Photo12】 Sylvia Walton Building 1F



【Photo13】 English Class ①



【Photo14】 English Class ②



【Photo15】 English Class ③



【Photo16】 Surprise Birthday Party



【Photo17】 Visit to Japanese Class



【Photo18】 Presentation of Certificates

図3 ラ・トロブ大学 スタディツアー

### 6-3 授業内容

研修2～5日目の午前には、George先生が教鞭を取り、医学・医療分野に特化した教材を用いて、解剖学用語の学習、病状・症状の説明方法、患者-医療従事者間の会話について、ロールプレイング、ディスカッション、ディクテーション、スピーチなどを行なった。ロールプレイングは、それぞれ症状が記載された用紙を元に、ダイアログを作成・暗記する宿題が課せられ、翌日の授業で医師役と患者役に分

かれ発表を行なった。参加学生は、発表パートナーと自主的に勉強会を開き、夜遅くまで課題に取り組んでいた。

参加学生が授業で使用する教材は Google Classroom で管理・配布されるため、ノートパソコンやタブレットを用いて授業を受けた。参加学生たちは、積極的な英語コミュニケーションに努め、授業や施設内での説明にも熱心に耳を傾け、積極的に発言を行っていた。

本研修中に20歳の誕生日を迎えた学生がおり、ラ・トロブ大学がサプライズで誕生日会を開催してくれ、誕生日ケーキと誕生日プレゼントが学生に贈られた。ラ・トロブ大学のぬくもり溢れる演出は学生に英語学習に対するモチベーションのさらなる向上をもたらした。Peter先生、George先生を始め、ラ・トロブ大学の関係者には感謝の念が堪えない。

研修最終日にラ・トロブ大学より修了証 (Certificate of Completion) が学生に配布された。メルボルン最終日のシドニーへの移動前に、ラ・トロブ大学で日本語を学ぶ学生と交流する機会を作ってもらうことができ、学生たちは英語と日本語を織り交ぜてのコミュニケーションをラ・トロブ大学の学生と楽しんだ。

#### 6-4 研修中の学生管理

本研修中は、学生に研修日誌の記録を義務付けた。研修日誌は Microsoft Teams 上で運用し、学生は、全体目標 (この語学研修を通して目指すもの)、今日の学び気づき (できたこと、課題と感じたこと、目標の達成度は何%か、その理由について)、明日の目標を研修日誌に記録し、引率教職員がコメントを記載するようにした。研修日誌をつけることで学生は自分自身の行動や状態を客観的に振り返ることができ、翌日に向けた改善点の洗い出しと実行を行うことでより深い学びや気づきに繋がった。また、引率中はできる限り授業の見学をし、学生たちと行動を共にするようにしたことで、学生側が持つ研修へのニーズを把握でき、臨機応変に研修先の大学に研修内容のアレンジを求めることができた。研修中は毎日20時に学生と教職員の全体ミーティングを開き、その日の気づきや疑問に感じたこと等を発表し、他学科の学生からアドバイスをもらう機会を設けた。

### 7. ラ・トロブ大学 施設見学 (図4)

#### 7-1 ラ・トロブ大学 施設見学の概要

研修2～5日目午後からの施設見学実習では、ラ・トロブ大学内の Nursing Labs, Podiatric Dept. Latrobe, Orthotics & Posthetics Dept. Latrobe, Nursing Department (Nursing Pods) の4か所の医療施設を訪問し、見学および実習を行なった。

#### 7-2 Nursing Lab 見学

Nursing Lab では、ボディーメカニクスや移乗・手指衛生に関してラ・トロブ大学の看護教員から講義・説明があり、実習はスライディングシートを使ったベッド上での水平移動・上方移動や体位変換をスリランカからの看護留学生らと合同で行なった。学生は戸惑いながらもスリランカの看護学生とコミュニケーションを図り、協力し合って実習を行なった。特に看護学科以外の学生にとっては患者体位変換の実習は初めての経験であり当初戸惑いを見せていたが、現地の教員から直接実技指導を受け関連する手技を習得できたことは学生たちの自信へとつながったと思われた。

#### 7-3 Podiatric Dept. Latrobe, Orthotics & Posthetics Dept. Latrobe 見学

Podiatric Dept. Latrobe, Orthotics & Posthetics Dept. Latrobe では、実際に義肢を装着されている患者さんの診察を見学させていただき、義肢・装具の制作やフィッティングの方法について説明を受けた。展示されている義肢・装具・材料や工具を実際に手にとることで、義肢・装具の仕組みや機能を学ぶことができた。



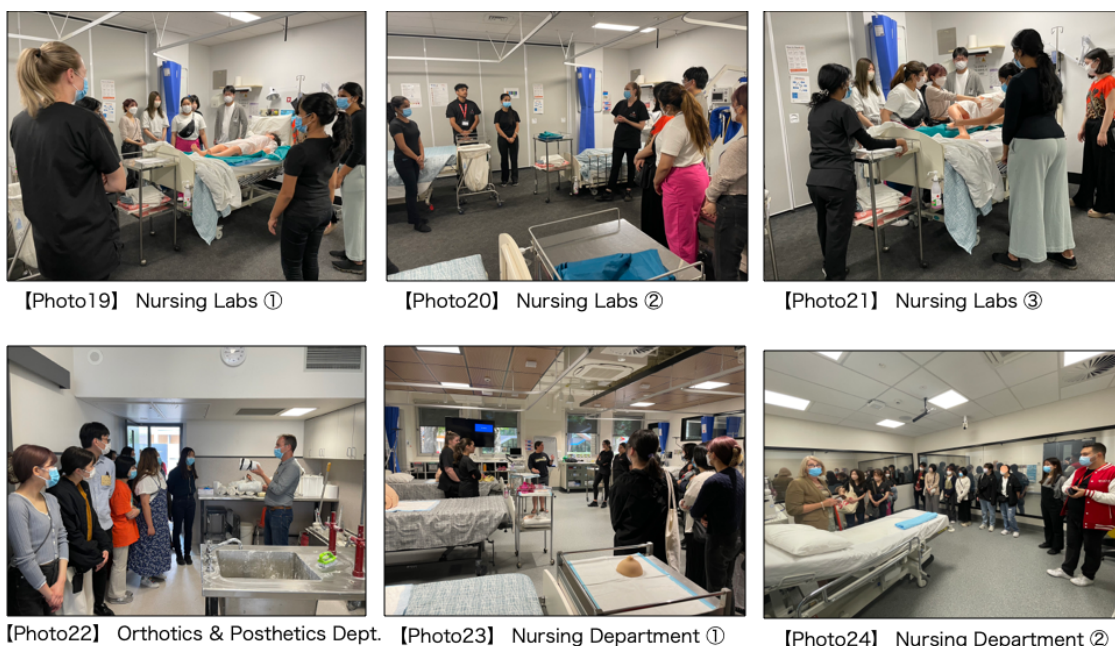


図4 ラ・トロブ大学 施設見学

#### 7-4 Nursing Department (Nursing Pods) 見学

Nursing Department (Nursing Pods) では、Simulation lab を見学した。ラ・トロブ大学の School of Nursing and Midwifery facilities では、Simulation lab における教育が大変充実しており、質の高い看護教育と研究が行われている。シミュレーションを活用し、支援的かつ安全な教育環境で、変化する患者の状況に対応するための学生の臨床的意思決定と実践的なスキルを磨き、実際の状況で適切に対応できること目標とし看護教育がなされている。Stefanie Zugna 先生 から看護教育では、処置の背後にある理論、ポリシー、思考プロセスを考えることで日常的な習慣に疑問を投げかけ、チームで協力する体制を構築することが重要であると説明を受けた。チーム医療は本学が掲げる教育テーマの1つである。本学では独自のチーム医療教育「専門職間連携教育 (IPE)」を1年次から展開しているため、学生たちはチーム医療について深く探求している。学生たちは「オーストラリアのチーム医療における多職種連携コンピテンシー」はどのように教育されているのか、どのように学ぶのかなど疑問を持ち、チーム医療を円滑に行うために専門職間の役割の明確化やコンフリクト解決をどのように行なっているのかなどを質問していた。

#### 7-5 City Orientation Tour

研修7日目の午後は、ラ・トロブ大学担当職員によるメルボルン市内見学 (City Orientation Tour) が行われ、ビクトリア州立図書館 (State Library of Victoria) とクィーンヴィクトリア・マーケット (Queen Victoria Market) を訪れた。ビクトリア州立図書館は1856年に開館し、オーストラリア国内で最も古い公共図書館であり「世界で最も美しい図書館」のひとつとして知られている。吹き抜けの本棚に並ぶ貴重な書籍の数々と白い壁に装飾が施された神殿のような佇まいに学生たちはため息を漏らしていた。クィーンヴィクトリア・マーケットは、1878年に創業された南半球最大のマーケットで、生鮮食品から雑貨や衣類など様々なものが揃っており、学生たちは思い思いのお土産の購入し、多文化都市メルボルンを満喫している様子が伺えた。



## 8. メルボルン・シドニー 自主研修 (図5)

研修8～9日目は、学生たちは、メルボルン動物園 (Royal Melbourne Zoological Gardens), メルボルン博物館 (Melbourne Museum), 旧メルボルン監獄 (Old Melbourne Gaol), ムンバフェスティバル (Moomba Festival), ルナ・パーク (Luna Park Melbourne), カフェ巡りなど各々メルボルン市内の散策に興じた。ムンバフェスティバルは、Labour Day (労働者の日) の祝日と合わせて金曜日から月曜日までの4日間に渡り、シティのヤラ川 (Yarra River) 沿いで行われるメルボルン最大のフェスティバルで、移動遊園地や世界各国の料理やスナックが楽しめるキッチンカーやカフェ、パレード、ヤラ川沿いに打ちあがる花火など多数の催しが開かれる。ムンバ (Moomba) とはアボリジナルの言葉で「Let's get together, and have fun!」という意味で、学生たちは文字通り、フェスティバルを楽しみ、充実した1日を過ごした。

研修10日はシドニーに移動し、シドニー市内で自主研修を実施した。シドニーでは、シドニー・オペラハウス (Sydney Opera House), シドニー・ハーバー・ブリッジ (Sydney Harbour Bridge), セント・メアリー大聖堂 (St Mary's Cathedral) を訪れた。当日は残念ながら雨天であったが、シドニー・ハーバー・ブリッジを徒歩で渡り、橋の上からシドニーハーバーの絶景とオペラハウスを楽しむことができた。雨の中で楽しそうに踊っている学生がおり、「雨に唄えば」(Singin' in the Rain) のジーン・ケリー (Gene Kelly) を彷彿させるシーンだと思い写真に収めたが、本人たちは「ラ・ラ・ランド」(LA LA LAND) のエマ・ストーン (Emily Jean "Emma" Stone) を演じていたようであった。雨天にもかかわらず楽しんでいる姿が非常に印象的であった。



【Photo25】 Sydney Opera House



【Photo26】 Sydney Harbour Bridge



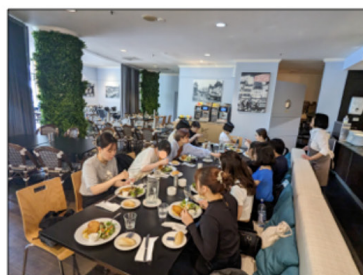
【Photo27】 LA LA LAND in the Rain



【Photo28】 Melbourne Zoo



【Photo29】 Sydney Hospital



【Photo30】 Lunch in Sydney

図5 メルボルン・シドニー 自主研修

## IV. おわりに

参加学生は12日間のオーストラリアでの短期海外研修を通じて、MEEPで培った英語コミュニケーション能力を実践しながらオーストラリアの医療を学び、また異文化交流を行なった。学生たちは、多文化社会に身を置くことで英語習熟および異文化理解に向けてこれまで以上に学習意欲を高めることができた。今回の短期海外研修が実施された3月は、メルボルンが時期的に夏の終わりということもあり

気候的にも過ごしやすく、また Moomba Festival のようなイベントもあり、学生にとって楽しい時期であったと考えられた。また、ラ・トロブ大学の教職員は、親切かつ丁寧であり、学生と引率教職員は不安を覚えることなく、安心して滞在することができた。オーストラリア滞在中、大きく体調を崩した学生もいなかった。日本とメルボルンとでは時差が2時間しか無いことも学生の健康維持に大きく寄与していたと考えられた。

本短期海外研修に参加した学生の本学への入学理由は MEEP の存在であり、医療従事者として青年海外協力隊への参加や海外での医療資格の取得など、自身の将来の展望として明確な目標・目的を抱いていた。海外での医療活動に対する関心の高さや目的意識は、英語学習だけではなく日々の勉学に対するモチベーションの差としても表れており、本学における短期海外研修は、医療従事者としてグローバル化への対応能力を身につける機会として非常に意義の高いものであると考えられた。現在のオーストラリアは「多文化主義」を掲げており、宗教上の食習慣への配慮、各国の行事を祝う催事、LGBT+ への理解など日常生活に浸透する多様性を垣間見ることができる。今後日本においても、深い異文化理解に基づいた視点から文化や宗教の異なる患者と向き合う機会がさらに増えると考えられる。多様性を認める社会に身を置き、「文化の違い」や「考え方の違い」に接することは、将来医療従事者を目指す学生にとって、患者の言葉の背後にある様々な意図を汲み取る力（患者－医療従事者関係における「他者理解」）を養うことができるという点においても、オーストラリアで海外研修を実施する意義は大いにあったと考えられた。さらに、引率する教職員にとっても医療の国際化への対応能力や教育スキルを研鑽する機会として意義のあるものだと考えられた。今後も本事業を発展的に継続するよう、本稿がその一助になれば幸いである。

## V. 補足

本短期海外研修には4年生が4名参加した。入学時から短期海外研修への参加を希望していたが、コロナ禍の影響で2,3年次での参加が叶わず、本年度の短期海外研修の実現も危ぶまれる中、諦めずに卒業間近の最後の最後まで英語の学習に取り組んでいた。2020年にパンデミックが始まってからほぼ3年、コロナ禍によりようやく終わりが見え、本年度の短期海外研修は幸いにも実行することができた。帰国日の翌日が本学の卒業式であったということもあり、4年生は大学生活最後の活動を本短期海外研修で締め括ることができた。卒業式の際、本研修に参加した後輩学生が花束を持って現れ、オーストラリアで共に過ごした時間を振り返りながら抱き合っただけで涙している姿が何とも琴線に触れた。教職員冥利に尽きる素晴らしい卒業式であった（図6）。



【Photo31】 Graduation Ceremony

図6 本研修に参加した学生の卒業式

## A report of the overseas study tour at La Trobe University in Australia

Yoshihiro Tsuji<sup>1, 2)</sup>, Rie Kuwajima<sup>2, 3)</sup>, Takehiro Kaburagi<sup>2, 4)</sup>, Yasuo Kishikawa<sup>2, 3)</sup>,  
Kunihiro Nagao<sup>2, 5)</sup>, Hitoko Fujishige<sup>2, 5)</sup>

- 1) Department of Medical Engineering, Faculty of Medical Science Technology, Morinomiya University of Medical Sciences
- 2) Center for Global Engagement, Morinomiya University of Medical Sciences
- 3) Corporate Planning Office, Morinomiya University of Medical Sciences
- 4) Accounting Section, Morinomiya University of Medical Sciences
- 5) Department of Acupuncture, Faculty of Medical Science Technology, Morinomiya University of Medical Sciences

### Abstract

The student overseas study tour was held at La Trobe University in Victoria, Australia, March 4-15, 2023. The purpose of this paper is to report on the overseas training program and the content and the results of it.

**Key words:** student overseas training program, Morinomiya English Education Program (MEEP), La Trobe University



